



TITLE:

露西亞ニ於ケル資本主義ノ發達ノ
特徴ト最近ノ大革命(其三)

AUTHOR(S):

米田, 庄太郎

CITATION:

米田, 庄太郎. 露西亞ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徴ト最近ノ大革命(其三). 經濟論叢 1917, 5(5): 691-698

ISSUE DATE:

1917-11

URL:

<https://doi.org/10.14989/127289>

RIGHT:

露西亞ニ於ケル資本主義ノ發達ノ特徵ト

最近ノ大革命 (其三)

米田 庄太郎

第一節 社會進化ト資本主義

(四) 西歐主義 (其二)

今露國ニ於テ西方主義或ハ歐羅巴主義或ハ西歐主義ト云フハ、ツマリ露國ノ西歐化ヲ意味スルモノニシテ、之ヲ廣義ニ解スルトキハ一大帝ノ大革命ヨリ始メ、總テ西歐ヲ模範トシテ露國ノ進歩發達ヲ圖ラントスル諸思潮諸方針ヲ、悉ク包括スルモノト見ルコトガ出來ル。併シ露國ノ思想界ニ於テ特ニ西方主義ト云フ場合ニハ、之ヲ特定ノ狹キ意義ニ解スルコトトナツテ居ル。即チすらぎ主義ニ對抗シテ起リ、之レト相並ンデ發達セル一定ノ學說及ビ思潮ノ一團ヲ意味スルモノデアル。要スルニすらぎ主義ガ西歐文化ヲ極力排斥シテ、すらぎ民族ノ文化的優勝ヲ主張シ、極端ナル民族的排外思潮ヲ鼓吹スルニ對抗シテ、西歐文化ヲ模範トシ、或ハ之ヲ批判的ニ吸收シテ、以テ露國ノ進歩發達ヲ圖ラントスル思潮ヲ總括シテ、之ヲ西方主義又ハ歐羅巴主義ト云フノデアル。サレバカカル意味ニテ云フ西歐主義ナルモノハ、すらぎ主義ト同時ニ或ハ少シ

ク之レニ後レテ生起セシモノニシテ、ツマリニこらす第一世ノ治世間ノ產物デアル。而シテ此時代ノ生産物トシテ、自然ニ推察シ得ラル、如ク、西歐主義ト云フモ決シテ西歐ヲ盲目的ニ崇拜スルコトヲ意味スルモノデナク、露西亞民族ノ民族の自覺ニ基ヅイテ生レ來リ、西歐ノ文化的發達ヲ批判的ニ考察シテ、以テ露國ノ發達ノ方針ヲ見定メントスル思潮デアル。然ルニすら主主義モヤハリ同様ナ立場カラ出發セシモノデアルカラ、最初ニハ兩者ノ間ニ著シキ差異ハ存在シナカタ。且ツ兩者ノ創唱者ノ多クハ始め同一ノ思想團ニ屬シ、親シク相交ツテ居ツタノデアル。例ヘバすら主主義ヤ露西亞主義ノ創說者ト見做サルルきれえぎすき、あくさこぎ、かーとこぎ等モ亦西歐主義ノ創說者或ハ代表的思想家ト見做サルルべりんすき、ばくにん、ぐらのぎすき、等モ共ニ始メすたんけういち仲間ニ屬セン人々デアル。ソレデ余ハ本節ニ於テ、西歐主義ノ最トモ重要ナル代表者ト認メラルル思想家ニ就テ彼等ノ思想ノ骨髓ヲ考究スルニ先ダテ、すら主主義ト西歐主義トノ最初ノ關係并ニ其ノ後發達セシ兩者ノ根本的差異ヲ概論シテ以テ西歐主義ノ思想ノ真髓ヲ深く理解スル準備トシタイト思フ。

西歐主義トすら主主義トノ關係并ニ兩者ノ根本的差異

今西歐主義者トすら主主義者トハ其ノ最初ノ出發點ニ於テハ一致シテ居ツタ。即チ兩者共ニ西歐ト露國トノ間ニ大ナル文化的差異ノ存在スルコト、及ビ露國ハ西歐ヨリ學フ可キ多クノ物ヲ有スルコトヲ認メテ居ツタ。而シテ彼等ハ始めハ上ニ述ベシ如ク、同一ノ思想團ニ屬シテ居ツタノデアル。併シ彼等ヲシテ根本的ニ異ナレルニツノ方針ニ進マシメタル大問題ハ、間モナク彼等ノ

問ニ起ツタ。夫レハ西歐主義者ノ一人、ちやあーだえぐノ言葉ヲ借りテ云ヘバ、ペーたー大帝以前ノ露西亞ハ白紙デアツタヤ否ヤト云フ問題デアル。即チ西歐文化ノ影響ヲ受ケル以前ヨリシテ、露西亞ハ價值アル夫レ自身ノ文化的要素ヲ具有シテ居ラナカッタト云フ問題デアル。而シテ此ノ根本的大問題ニ關シテ、西歐主義者トすらゞ主義者トノ間ニ、根本的ナル見解ノ差異ガ發達シテ來タノデアル。モツトモ此ノ根本的大問題并ニ之レニ附屬セル諸問題ニ關シテモ、總テノ西歐主義者ハ常ニすらゞ主義ト見解ヲ異ニシテ居ツタト云フノデハナク、彼等ノ或者ハすらゞ主義ニ近い考ヘヲ抱キ、又屢々同一ノ目的ヲ唱ヘテ居ツタ。蓋シ均シク西歐主義者ト稱セラルル人々ノ間ニモ大ナル見解ノ差異ガ存在シテ居ツタカラデアル。而シテ實際ニ於テ何レノ主義ニ屬スルト見做シテヨイカ、甚ダ疑ハシキ人々ハ少クナイノデアル。而モ西歐主義ノ代表的思想家ト見做サルル人々ハ比較的ニ早クヨリすらゞ主義者ノ非難ヲ受ケ、彼等ト絶交シ分離シタ。例ヘバベリンスキーハ既ニ千八百四十一年ニすらゞ主義者ヨリ愛國心ノ缺乏ヲ以テ非難サレ、又ちやあーだえぐハ背教者トシテ、ぐらのうすきーハ青年ヲ腐敗セシムル奸物トシテ、而シテへるつえんハ西歐ノ法服ヲ着タ馬丁トシテ非難サレタ。此クテ西歐主義ハすらゞ主義トハ大體上根本的ニ異ナレル方針ヲトツテ發達シタノデアルカ、然ラバ前二節ニ於テ述ベシすらゞ主義及ヒ露西亞主義ト比較シテ、西歐主義ハ彼等ト如何ニ異ナレル思想ヲ唱道シタカ。茲ニハ只全體ノ上カラ見テ、彼等ノ間ニ存在スルト思ハルル最トモ重大ナル思想ノ差異ニ就テ、簡單ニ述ブルニ止メルガ、先ヅ西歐主義トすらゞ主義トノ根本的差異ハ、宗教的教會的及ヒ哲學的問題ニ關シテ認メラレル。

夫レなほれぞん戦争後ニ於ケル露西亞ノ思想界ニ於テハ、第十八世紀及ヒ第十九世紀ノ始メニ於ケルト異リテ、懷疑思潮ヲ排斥シテ理想主義信仰主義ヲ高調スル思潮ガ大ニ發達シテ來タ。而シテすらゞ主義モ亦西歐主義モ、共ニ此ノ時代ノ產物トシテ、同ジク理想主義信仰主義ヲ力説シテ居ツテ、此ノ點ニ於テハ彼等ハ一致シテ居ツタ。又是レガ爲メニ彼等ハ始メ同一ノ思想團ニ屬シテ居ツタノデアル。併シ其ノ後彼等ノ信ズル理想ノ實質ガ大ニ異ナツテ來タ。すらゞ主義ハ露西亞理想ヲ確信セルニ反シテ西歐主義ハ西歐理想ヲ確信シタ。殊ニすらゞ主義ハ教會の正統教ヲ大ニ理想化シテ力説シタガ、西歐主義ハ全然之ヲ排斥シタ。是レ兩者ノ思想ノ間ニ重大ナル差異ヲ生ズルニ至レル根本の原因デアツタ。而シテ其ノ哲學的傾向ニ於テハ、最初ノすらゞ主義ハ殊ニしえりんぐノ哲學ヲ根底トシテ出發シ、且ツ之ヲ永ク固持シテ居ツタガ、西歐主義者ハヘーゲルノ哲學ヲ根底トシテ出發シ間モナクヘーゲル左黨ノ哲學ニ移ツテ行ツタ。詳シク云ヘバすらゞ主義ハしえりんぐノ信仰哲學ヲ根底トシ、宗教的理想ヲ其ノ骨髓トシテ出發シ、且ツ其ノ態度主張ヲ永ク固持シテ居ツタガ西歐主義ハ始メヘーゲルノ哲學ヲ根底トナシ、社會的政治的理想ヲ其ノ骨髓トシテ出發シタガ、間モナクヘーゲル左黨ノ哲學ニ移リ、又英佛ノ實證主義ヲ攝取シタ。此クテすらゞ主義ハ本來内部の宗教的ニ、露國民ヲ覺醒シ復活セシメントスル文化的精神的運動トシテ出發シタノデアルガ、西歐主義ハ始メヨリ強ク社會的政治的色彩ヲ帶ビテ居ツタ。而シテ其ノ後社會的政治的の方面ニ於テ、兩者ノ間ニ重大ナル差異ガ生ジタ。要スルニすらゞ主義ハ社會的政治的ニハ保守主義的の反動主義的デアツタガ、西歐主義ハ自由主義的及ヒ社會主義的のニシテ、

當代ノ民本主義的ナ若キ露西亞ノ代表的思潮トナツタノデアル。

上述ノ根本的差異ニ基ヅキ、種々ナル問題ニ關シテ西歐主義者ハすらグ主義者トハ異ナレル見解ヲ立ツルニ至ツタノデアルガ、茲ニ其ノ最トモ重要ナル問題ニ就テ、彼等ノ見解ノ差異ノ一斑ヲ示シテ置ク。先ヅ國家ノ意義并ニ露國ニ於ケル其ノ起源ニ關シテ、彼等ノ見解ハ異ナツテ居ルサキニ述ベシ如クすらグ主義者ハ國家ヲ倫理的ニ觀念シ且ツ之ヲ以テ本來教會ニ附屬スルモノノ如クニ考ヘテ居ツタガ、西歐主義者ハ之ヲ倫理的ニ觀念スルト共ニ政治的ニ觀念シ、教會ニ附屬スルモノデナクシテ、之レト獨立シ、更ニ其ノ上ニ立ツモノトサヘ考ヘタノデアル。ツマリすらグ主義ガ教會ヲ以テ根本的ナ歴史の及ビ社會の指導勢力ト觀念セルニ對シテ、西歐主義者ハ國家ヲ以テ該勢力ト觀念シタノデアル。但シ西歐主義者中ニアリテモ、過激的ナル一派ハ國家ノ意義ヲ大ニ輕視シテ居ツテ、其ノ點ニ於テハすらグ主義ニ似テ居ツタ。而シテ露西亞ニ於ケル國家ノ起源ニ關シテハ、すらグ主義ハ之ヲ家族及ビ村落團體ヨリ生起セル特異ナルモノト説明セルニ對シテ西歐主義者ハ露西亞ニ於テモ國家ハヤハリ西歐諸國ニ於ケルト同ジク、家長氏族組織ヨリ生起セル專制主義的ノモノデアルト説明シタ。尙ホすらグ主義者ハ露國ノ法制ハ西歐ノ法制ト異リテ、民族信仰ノ自然ノ發現ニシテ、本來倫理的ナ性質ノモノデアルト考ヘタニ對シテ、西歐主義者ハ露國ノ法制モ西歐ニ於ケルト同一ノ關係又ハ甚ダ類似セル關係ヨリ發達セルモノニシテ、實際ニ於テ見ルカ如キ差異ハ、主トシテ慣習法ト制定法トノ差異ニ歸スルモノト論ジタノデアル。次ニ民族本質及ビ意義ニ關シテハ、すらグ主義者ハサキニ述ベシ如ク大ニ民族主義的ナ思想ヲ唱

道シテ居ツタノデアルガ、之レニ對シテ西歐主義者ノ主張スル處ハ、寧ロ第十八世紀流ノ世界主義的及び人道主義的ノ思想デアツタ、すらゞ主義者ハ、人間ハ只露西亞人トカ、佛蘭西人トカ云フ特定ノ民族ノ一員トシテ存在スルノミノモノデアルト主張シタカ、之レニ對シテ西歐主義者ノ或者ノ如キハ總テ民族のナルモノハ人間のナルモノノ前ニハ、何等ノ價值ヲモ有シナイト論ジタ。又すらゞ主義者ハ諸種ノ科學ニ於テモ民族的特質ヲ發見セント努力セルニ對シテ、西歐主義者ハ科學ハ本來世界の人間のノモノニシテ、其ノ中ニ民族の差別ノ存在ス可キモノデナイト論ジタ。但シ西歐主義者ノ間ニアリテモ、一派ノ人々、殊ニ自由主義ノ人々ハ全然民族主義ヲ排斥シタノデナク、穩和ナル民族主義思想ヲ抱イテ居ツタ。而シテ其ノ激シク民族主義ヲ排斥セシモノハ、一般ニ過激派ノ人々デアツタ。終リニ露西亞ニ對スル兩者ノ態度ニ就テ、尙ホ少シク述ベテ置クガ西歐主義者モ露西亞ヲ愛スル點ニ於テ、決シテすらゞ主義者ニ劣ツテ居ラナカツタ。へるうえんハ實ニ左ノ如ク云フテ居ル。「すらゞ主義者ニ於テモ、亦余輩ニ於テモ、若年代ヨリシテ不反省的ナ、生理的ナ、生得的ナ一ノ強キ感情ガ活動シテ居ル。夫レハ露國民ハ露西亞の生活法、露西亞の考ヘ方ニ對スル無限ナ、吾人ノ心身全體ニ浸潤スル一ノ愛ノ感情デアル」。要スルニ西歐主義者ハ、露西亞ヲ批評的ニ考察スルコトヨリ出發シテ、其ノ弱點及ビ缺點ヲ發見シ、而シテ露西亞ヲ憎シタ。併シ後直接ニ西歐諸國民ニ接シテ、親シク詳シク彼等ヲ研究スルニ至ツテ、彼等モ亦多クノ弱點及ビ缺點ヲ有スルコトヲ覺知シ、此クテ露西亞ガ多クノ弱點及ビ缺點ヲ有スルコトヲ意識スルニ係ラス、ヤハリ之ヲ愛スルコトヲ學ンダノデアル。而シテ此ノ憎ム愛ト云フ、一種奇

妙ナ愛ガ、實ニ西歐主義者ノ心理ヲ特質ツケルモノデアツタノデアル。ツマリすらが主義者ハ、只西歐ノ缺點ノミヲ見テ、露西亞ノ缺點ニ着目セズ、而シテ西歐ハ當然破滅ス可キモノニシテ、獨リすらが民族ノミガ生活活動シ行クモノト觀念シタニ對シテ、西歐主義者ハ露西亞ニ於ケルト同様ナ弱點及ビ缺點ヲ西歐諸國民ニ於テモ發見シ、而シテ同一ノ改造的革命ニヨリテ兩者ハ救済シ得ラルルモノト確信シタノデアル。

以上、甚ダ不完全デハアルガ、西歐主義トすらが主義トノ關係及ビ差異ノ一斑ヲ示シタト考ヘルカラ、是レヨリ西歐主義ノ代表的思想家ニ就テ其ノ思想ノ骨髓ヲ研究シ、以テ西歐主義ノ真相ヲ深く究明シテ見タイト思フ。

今狹義ニ解スル西方主義或ハ歐羅巴主義ニ於テモ、普通ニ此ノ主義ヲ奉ズルト認メラルル人々ノ間ニ、種々ナル見解ノ差違ガアツテ、詳シク調ラベテ見レバ、更ニ彼等ヲ幾多ノ分派ニ類別シテ考察スルコトガ必要デアル。ソコデ或人ハ之ヲ(一)ちやあーだえがニヨリテ代表サルル加特利主義派、(二)ベりんすきーニヨリテ代表サルル人道主義派及ビ(三)へるつえんやちえるにしえがすきニヨリテ代表サルル人民主義派ノ三分派ニ分類シテ考究シテ居ルガ、又或人ハちやあーだえが一派ノ思潮ヲ、西歐主義ノ中ニハ加ヘズシテ、先ヅベりんすきーヲ以テ西歐主義ノ最初ノ代表的思想家ト見做シ、夫レヨリへるつえんヲ以テ哲學的及ビ政治的過激主義派ノ代表者、ばくにんヲ以テ革命的無政府主義派ノ代表者、而シテちえるにしえがすきー、どぶろるるやばが、及ヒびされが等ヲ以テ現實主義及ビ虛無主義ノ一派ノ代表者ト見做シテ考究シテ居ル。若シ表面上ニ於テすらが主

義ニ反對セル同代ノ思潮ヲ、總テ西歐主義ト見做スニ於テハ、ちやあーだえぐ一派ノ加特利主義ヲモ其ノ中ニ加ヘルコトハ穩當デアルト思フガ、併シちやあーだえぐ一派ノ思潮ハ、本來一種ノ反動主義保守主義ノ思潮ニシテ、其ノ希臘正統教ヲ抑ヘテ大ニ加特利教ヲ揚グルニ係ラズ、本來すらぐ主義ニ共鳴スル處大ナルモノデアアル。而シテ進歩主義的又ハ急進主義的ナ西歐主義ノ一般ノ思潮トハ大ニ其ノ趣ヲ異ニスル處ガアル、ソレデ余モ該派ヲ西歐主義ノ一派ト見做サナイ方ガ穩當ト考ヘル。尙ホ其他ノ諸分派ニ就テモ茲ニ之ヲ嚴密ニ分類シテ、一々詳シク論究シテ居ル暇ガナイカラ、只特ニ西歐主義ノ代表的思想家トシテ一般ニ認メラレテ居ル諸家ニ就テ、簡單ニ其ノ思想ノ真髓ヲ論述シ、以テ西歐主義ノ根本的思想ノ如何ナルモノデアルカヲ、究明スルニ止メルコトトスル。而シテ其等ノ代表的思想家ト云フハ即チペリんすきー、へるつえん、ばくにん、ちえるにしえぐすきー等ノ人々デアアル。但シ其ノ中デばくにんノ全集ハ佛語ニテ出版サレテ居リ、且ツ彼ノ思想バ西歐諸國ヤ我國ニ於テモ一般ニヨク知ラレテ居ルカラ、茲ニハ彼ノ思想ノ論述ヲ省イテ置ク。尙ホ其等ノ代表的思想家ガ、進歩的ナル露國ノいんてりけんちやノ上ニ、特ニ大ナル影響ヲ及ボシタル年代ニ就テハ、大體上カラ見テペリんすきーノ影響ノ大ナリシハ千八百四十年代、へるつえんノ影響ノ大ナリシハ千八百四十年代ヨリ同五十年代、而シテちえるにしえぐすきーノ影響ノ大ナリシハ千八百六十年代デアルト見做スコトガ出來ル。